

令和 5 年 7 月 6 日

日本医療科学大学

感染症対策本部

COVID-19（新型コロナウイルス）に関する注意喚起について

新型コロナウイルスの第 9 波が始まっている可能性が指摘されています。特に沖縄県では 6 月 19～25 日の 1 週間に報告された 1 定点医療機関あたりの感染者数が前週の 1.37 倍にあたる 39・48 人に急増し、全国で突出して多くなっています。それに伴い、感染者が全国的に増加しております。

政府の専門機関によると、第 8 波で主流だったオミクロン株の「B A・5」から、複数のオミクロン株が組み合わさった「X B B」系統に置き換わっています。これまでのワクチン接種などで得た免疫を逃れる能力が高いとされ、時間経過による減衰時期とも重なり、6 月 16 日の会合では変異株の出現を踏まえ、「夏の間には一定の感染拡大が生じる可能性がある」との見方が示されました。また、政府分科会の尾身会長によると第 9 波に入ったとの指摘もされています。

本学内における感染者も増加の傾向にあり、学生の感染者も増加しており、同学科内での複数の感染者が確認されたほか、教職員においても感染者の増加がみられます。以下の対策は、COVID-19 の感染拡大を抑えるために有効です。また、状況は変化する可能性があるため、信頼性のある情報源や地域の指示に従うことも重要です。感染予防には個人の意識と行動が不可欠です。今一度正しい危機感を持って、皆さんの健康と安全を守るために、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をお願いいたします。

基本的対処

1. マスクの着用：人と接する場合や人の多い場所では、マスクの着用を心掛けましょう。マスクは他人や自身への感染リスクを低減させる効果があります。
2. 手洗いと手指の消毒：頻繁な手洗いとアルコール消毒を行いましょう。手はウイルスの感染経路となる可能性が高いため、清潔な状態を保つことが重要です。
3. 社会的距離の確保：人との距離を保つことで、飛沫感染のリスクを低減できます。必要な場面であれば、他の人との距離を 1 メートル以上開けるようにしましょう。
4. こまめな換気：室内では定期的な換気を心掛けましょう。新鮮な空気の流れがウイルスの拡散を抑える助けとなります。
5. 不要不急の外出の自粛：感染リスクの高い場所や密集した場所への不要不急の外出は避けましょう。必要な場合でも、感染予防策を徹底しましょう。
6. 症状がある場合の対応：発熱や咳、倦怠感などの症状がある場合は、自宅待機し、医療機関に相談してください。指示に従いましょう。
7. ワクチン接種：ワクチン接種は感染拡大を防ぐために非常に重要です。適切なタイミングでワクチン接種を受けるようにしましょう。